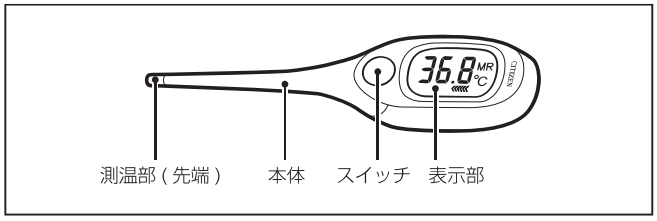
機械器具 16　体温計
管理医療機器　電子体温計（14032010）
シチズン 電子体温計 CT793P

【警告】
・ お子様だけで使わせないでください。
・ 測温部を噛まないでください。

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名前



付属品：ケース、モニター用電池(内蔵)、取扱説明書(保証書付)/EMC技術資料、医療機器添付文書

2. 体に接触する部分の原材料
・ 測温部：SUS 304 ステンレススチール
・ 本　体：TPEE（ポリエステル系熱可塑性エラストマー）

3. 本体の寸法及び重量
・ 寸法：約 32（幅）× 110（長さ）× 15（厚さ）mm
・ 質量：約 20g（電池含む）

4. 電気的定格
・ 定格及び電源：DC3.0V（CR2025×1 個）
・ 電撃保護：内部電源機器 B 形

5. 原理
本製品は、人の体温を測定するための装置であり、測温部、本体、スイッチ、表示部等からなり、測温部に伝わった温度を感温素子により電気量に変換し、その電気量を LSI により演算処理し、平衡温を予測した後、測定値をデジタル表示するものです。
本製品は微弱電波により測定結果を送信することができます。

【使用目的、効能又は効果】

本製品は、測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する装置です。

【品目仕様等】

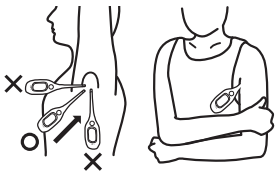
体温計の種類：	予測式、一般用、測温部一体形、防浸形
最大許容誤差：	± 0.1℃（恒温水槽で実測測定した場合）
防浸形：	JIS T 1140：2005 の規定による
測温範囲：	32.0℃～ 42.0℃
最小表示単位：	0.1℃
測温範囲外告知：	低い時…「L」表示 高い時…「H」表示
使用条件：	周囲温度　10 ～ 40℃ 相対湿度　30 ～ 85%RH
保管条件：	周囲温度　–20 ～ 60℃ 相対湿度　95%RH 以下
送信周波数：	2403 ～ 2480MHz
変調方式：	GFSK 変調
送信出力：	0.0017W
通信距離：	10m 程度（同じ室内で障害物等がない場合） ※鉄筋・鉄骨の建物や金属製のドアをまたぐ場合、又は設置環境や周辺の電波環境などにより、通信距離が低下する場合があります。
適用法令：	電波法第 38 条の 24 第 1 項の規定に基づく工事設計認証
証明番号：	007WWCUL0615

※ 本製品は EMC 規格 IEC 60601-1-2：2001 に適合しています。
EMC 適合
※ 本製品は JIS T 1140：2005 に適合しています。

【操作方法又は使用方法等】

（1） スイッチを押して電源を入れます。
（2） 「ピッ」とブザーが鳴り、全点灯表示に続いて、前回の検温値が表示され、単位マーク「℃」が点滅して、測定状態になります。

（3） 測温部を腋下に密着させ安静にします。
① あらかじめ腋下の汗を拭いてください。
② 測温部（先端）を腋下のへこんだ部分になるべく下から 30°～ 45° の角度で押し上げて、密着させます。
③ 測温部（先端）がずれないように、腋をしっかり閉じます。

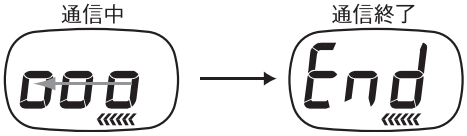


（4） 予測検温の場合：
検温開始後、約 30 秒で予測検温終了のブザー（連続 3 回）が鳴りますので、予測検温値を確認します。

※ 正しい方法で測定を行わなかった場合や血行動態・体躯等によっては予測精度が保証されない可能性がありますのでご注意ください。

実測検温の場合：
① 実測検温を行う場合は、予測検温終了のブザーが鳴っても、体温計を腋下から出さず、そのまま検温を継続します。検温開始から約 3 分後に実測表示に切り替わります。
② その後もそのまま検温を継続すると、検温開始から約 10 分経過後に、実測検温終了のブザー（連続 5 回）が鳴りますので、その時点の実測検温値を確認します。

（5） 検温が終わりましたらスイッチを押します。
スイッチを押すとブザーが鳴り、測定データが受信機へ送信されます。通信が正常に終了すると「End」と表示されますので、スイッチを押して電源を切ります。（スイッチを押さなくても、5 秒間経過後、自動的に電源が切れます。）

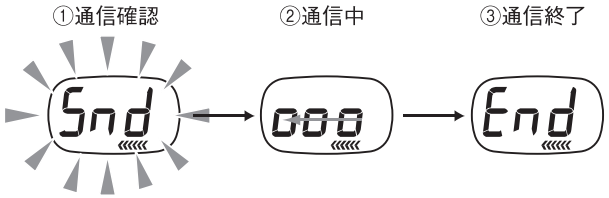


通信が正常に終了しなかった場合、「Err」と表示されます。受信側機器の設定、周囲環境を確認し、手動送信をしてください。

取扱説明書を必ずご参照ください

■ 手動送信について

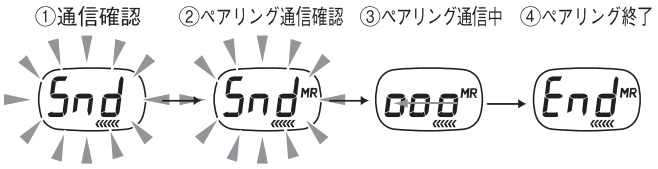
電源が切れた状態でスイッチを長押し（5秒以上）すると、通信確認の表示「Snd」①が点滅します。さらにスイッチを押すと通信中の画面②が表示され、受信側機器との通信が正常に終了すると「End」③と表示されますので、スイッチを押して電源を切ります。（スイッチを押さなくても、5秒間経過後、自動的に電源が切れます。）



通信が正常に終了しなかった場合、「Err」と表示されます。
受信側機器の設定、周囲環境を確認してください。

■ ペアリングについて

受信機との通信は、ペアリング（送信側と受信側の機器の認証）の操作が必要な場合があります。受信側の機器の設定については、受信機の取扱説明書を参照してください。
スイッチを長押し（5秒以上）すると、通信確認の表示「Snd」①が点滅します。さらにスイッチを長押し（2秒）するとペアリング通信確認の表示「Snd MR」②が点滅し、さらにスイッチを押すとペアリング通信中の画面③が表示され、受信側機器とのペアリングが正常に終了すると「End MR」④と表示されますので、スイッチを押して電源を切ります。（スイッチを押さなくても、5秒間経過後、自動的に電源が切れます。）



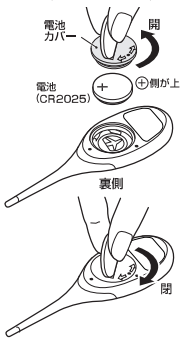
ペアリングが正常に終了しなかった場合、「Err MR」と表示されます。
受信側機器の設定、周囲環境を確認してください。

（6）ご使用後は乾いた布などで水気を拭き取って、清潔な状態で付属のケースに戻してください。

■ 電池交換について

が点滅したら、お早めに電池を交換してください。
電池が完全になくなると、 のみ点灯します。

(1) コイン等を電池カバーの溝に入れ、反時計回り（約140度）にまわしてください。
(2) 電池カバーが上がってきますので、手で取り外してください。古い電池を取り外してください。
(3) 電池の(+)側を上にして新しい電池をセットしてください。
(4) 電池カバーと本体側の●印を合わせて、カバーを上から押さえながら、コイン等で時計回りにまわしてください。



※ 体温計には時計機能と60回分のメモリー機能が内蔵されており、受信機との通信時に時計設定とメモリー値の送信がされます。
電池を取外すと時計とメモリー値は消えます。
尚、体温計本体には前回の測定値（メモリー）のみ表示され、時計や複数のメモリー値は表示されません。

【使用上の注意】

(1) 腋専用です。腋下以外で検温しないでください。
(2) 運動、入浴、食事のあとの約30分間は検温を避けてください。
(3) 周囲温度が32℃以上の場合、測温部を水で冷やしてから測定し、周囲温度の影響を受ける前にすばやく表示をお読みください。
(4) 人の体温以外の測定には使用しないでください。
(5) 修理、改造、分解は絶対に行わないでください。
(6) 超音波洗浄はしないでください。[故障の原因となります]
(7) 水中に放置したり、水道の蛇口に直接あてないでください。
(8) 曲げたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。
(9) お子様が電池を飲み込まないように注意してください。
(10) 本製品は微弱な電波を送受信するため、金属物の近くで通信すると送受信状態が悪くなる場合がありますので、なるべく金属物から離して通信してください。
(11) 本製品は、電波を遮るものが無い同じ室内で、できるだけ受信機の近く（2～3m以内）で通信してください。
(12) 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合は、正常に送受信されないことがあります。
(13) 本製品は微弱ですが電波を使用しているためペースメーカなどに影響を及ぼすおそれがあります。

※ 説明書に従わない使用がなされた場合および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、弊社は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵方法
高温や直射日光が当たる場所、湿気が強い場所、ホコリが多い場所、腐食性のガスが発生する場所に保管しないでください。
長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出して保管してください。

2. 使用の期間
標準的な使用期間の目安：5年（自己認証による）

3. 電池寿命
予測検温：約1900回
実測検温：約1500回

【保守・点検に係る事項】

(1) 測温部（先端）を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽く拭いてください。また、測温部を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯（50℃を超えるお湯）で消毒しないでください。
(2) 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とした後、洗剤をよく拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウムなどは絶対に使わないでください。

【包装】

1個 / 箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元: **シチズン・システムズ株式会社**
住　　所: 〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12
電　　話: 0120-88-6295
製 造 元: **西铁城精电科技（江门）有限公司**
CITIZEN SYSTEMS（JIANGMEN）CO., LTD.
中華人民共和国